

1面	ゾーニングしやすさユニット型の強み 現場の声から課題を探る 国政ニュース、こちら傍聴席
2面	新型ワクチン 高齢者4/12接種開始 【連載】令和3年度改定を読む 【連載】木村よしおのちょっと一言 介護保険委員長のよもやま話
3面	施設紹介 【このとり】(大阪) 【ローズガーデン甲子園】(兵庫)
4面	介護ニュース・ダイジェスト ズバリ回答! 人事・労務のお悩み 入会施設のご紹介、事務局から ユニットケアワンポイントセミナー



個室ユニット 推進協ニュース3月号

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

ゾーニングしやすさ ユニット型の強み

月例勉強会「特養、コロナ禍ドキュメント」 川上施設長 発生から収束までの経緯を語る

2月26日、全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協、赤枝雄一会長)は「特養、コロナ禍ドキュメント」と題し、昨年9月にクラスターが発生した「さつまの里(千葉県)」の川上幸代施設長を講師に招き、月例勉強会を開催した。川上施設長は発生から収束までの経緯を説明し、「ゾーニングしやすさの強み」がユニット型個室の強みだ」とユニット型が感染拡大防止の面で優れていることを強調した。参加者から次々と質問が寄せられ、関心の高さを示した。

推進協はさつまの里(千葉県鎌ヶ谷市)の川上幸代施設長を講師に招き、「特養、コロナ禍ドキュメント」をテーマに見舞われたある施設(事例)をテーマに月例勉強会をオンライン開催した。約80名が参加した。

川上施設長は当時の状況を振り返りながら、ゾーニングや汚染物処理などの感染対策や、職員の状況などについて語った。

参加者からは1時間近く、物資や手当てなどの費用、人員配置、メンタル面のケア、風評被害などによる経営への影響など多岐にわたる質問が寄せられた。

川上施設長の講演(要旨)は以下の通り。

川上施設長の講演(要旨)

日に日に感染者が増えて不安でしたが、クラスター対策班や保健所の指導は心強かったです。大変だと思

さつまの里(千葉県・高嶺福祉会)

特養(ユニット型) 110床
シヨート(ユニット型) 10床
シヨート(多床室) 20床
デイサービス 40名

【感染から収束までの経緯】

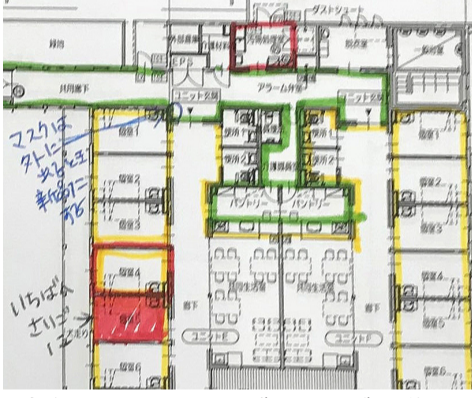
昨年9月、シヨート(多床室)利用者6名と職員6名の計12名が感染。感染した利用者のうち、1名は帰宅後に陽性と判明、他5名は増床したユニット型個室へ移動後に判明した。10月末から営業を再開。

うことも、とにかく指示通りに徹底したので収束できました。

ユニット単位でゾーニング

ゾーンはユニット単位で設定しました。施設には認知症の入居者がいて、夜勤者が2つのユニットを自由に動きまわります。居室単位のゾーニングは無理でした。

『広げないために心を鬼にして』とクラスター対策班の方に言われ、心苦しかったです。ユニットの入口を施錠しました。



実際の図面を用いてゾーニングを説明

ユニット内でケアを完結

ユニット内のトイレの1つを汚染物集積所にして、私や事務職員が汚染物を回収しました。ユニットにはお風呂やキッチンなど生活するのに必要な設備が揃っていることで、ユニット職員はユニットから出ることなく、ケアを完結できました。

ユニット型個室の強み

人だけでなく物もゾーニングしやすなのがユニット型個室の強みだと

実感しました。実際、多床室からユニット型個室に移った利用者5名の他に感染者は出ませんでした。多床室の場合は、構造上の理由からゾーニングはフロア全体になります。

ユニットケアの良さが弱みに

法人から派遣された応援職員には同意の上でレッドゾーンに入ってもらいました。グリーンゾーンに入ってもらおうと、入居者一人ひとりのケアについて詳細を教える必要があります。しかし、その余裕が職員にはありませんでした。その点は、ユニットケアの良さが弱みになりました。

災害時ケアマニュアルの整備を

3分の1以上の職員が欠勤になりました。少ない職員では最低限のケア(水分・食事・排せつ)だけで一杯。十分なサービスを提供できないことにジレンマを感じる職員が多かったです。災害時のケアマニュアルの整備が必要だと感じました。

一人ひとりができることを

事務職が指揮を執り、医務は保健所対応、課長やリーダーがシフトを調整、本部職員は事務当直を担当、デイの職員が夜勤をしてくれたり、相談員も現場に入ってくれたりしました。一人ひとりができることを探ることができたと思います。

◆参加者の声から

- ・実際の経験に基づいた内容なので大変参考になった。有意義だった。
- ・コロナではもっと厳しい感染対策が求められると思っていた。感染力はコロナの方が強いが、感染者が出たらユニットで区切るといったノウハウやインフルエンザ同様の対策で良いとわかった。話を聞いて少し安心した。
- ・施設の一大事に職員が自ら動くことに感銘を受けた。本当に良い施設だと感じた。

【事務局】さつまの里の川上施設長をはじめ、職員の皆様、ご協力ありがとうございました。(山)

現場の声から課題を探る 介護保険委員会 タウンミーティング始動



第4回介護保険委員会

2月19日、推進協は第4回介護保険委員会(藤村二朗委員長)を開き、次年度4月から開始するタウンミーティング実施について話し合った。

開催目的は①ユニット型施設の経営上における課題を現場からくみ上げ、要望に反映する②会員間のコミュニケーションの促進と支部活動の活性化を図る。ミーティングでは今回の報酬改定および次期改定に向けての意見や要望を聞き、委員会で論点を整理する。

会員数が少ない地域については、左表のとおり、介護保険委員および事務局が主体となってブロック開催することが決まった。既に支部活動が活発な地域については、支部単位で開催する予定。

タウンミーティング・スケジュール

開催日	ブロック
4月9日(金)	茨城、栃木、群馬、長野、山梨
4月19日(月)	新潟、富山、石川、福井
4月23日(金)	熊本、大分、宮崎、鹿児島
5月10日(月)	香川、徳島、愛媛、高知
5月24日(月)	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
6月16日(水)	岡山、広島、山口、鳥取、島根
6月21日(月)	三重、滋賀、京都、和歌山、兵庫

国政ニュース ワクチン接種始まる

(2月17日) 高齢者4月12日限定開始
新型コロナウイルスワクチンの先行接種が始まり、医療従事者ら125人が接種を受けた。副反応などの情報収集が目的で全国100医療機関が対象。供給量に応じて拡大する。25日、河野太郎担当相は高齢者接種について「4月12日に限定的に開始し、26日の週から全ての自治体に配送したい」と説明した。

◎休業法改正案を国会へ提出

(2月17日) 男性の産休を新設
政府は育児・介護休業法改正案を国会に提出した。父親は通常の産休とは別に生後8週までに最大4週間産休を取得できる「男性産休」が盛り込まれた。また勤続1年未満の非正規社員も産休を取得できるようにする。

ウの目タカのみ こちら傍聴席

◎理事長逮捕の衝撃
○：「ズブズブの関係はアウト!」とベテラン記者。山梨県警と大阪府警の捜査本部は甲府市内にある社会福祉法人の理事長ら3人を社会福祉法の贈賄容疑、評議員5人を収賄容疑で逮捕した。社福法の贈賄罪適用は初めて。

○：「理事長らは評議員会を牛耳ろうと、評議員に現金20万円ずつ渡し、理事長の息のかかった人物を新しい評議員に選任しよう」と依頼した容疑です」と社会部記者が補足した。

○：2016年の社福法改正で評議員会の監督権限が強化される一方、理事長・理事の責任が重くなり、新たに贈賄罪が規定された。今回の逮捕は理事長と評議員の健全な関係を促す警告になりそうだ。(橋)



新型ワクチン 高齢者4月12日接種開始

河野担当相「6月末全量配送」明言

河野太郎新型コロナウイルスワクチン担当相(行革担当相)は2月24日の記者会見で米ファイザーと独ビオンテックが共同開発したワクチンの供給見通しや接種のおおまかな日程を説明した。高齢者への接種について「4月12日から限定的に開始し、6月末までに全ての自治体にワクチンが届くよう搬送を終える」と述べた。しかし、具体的な供給量(数量)は明言を避けた。医療現場では変異株の感染者が増えており、ワクチン接種が急務になっている。

4月5日配送開始

河野担当相は高齢者向けワクチン供給について「ファイザー製ワクチン(2回接種)を4月5日から都道府県への発送を始め、6月末までに全ての自治体に行き渡る。12日から数量限定で高齢者への接種を開始する」と述べた。

だが、高齢者への接種がいつ終わるのか、基礎疾患のある人への接種がいつになるのかなどについては「ワクチンの供給状況による」として明言しなかった。

新たに2社が承認申請

3月10日時点、接種が行われているのは医療従事者を対象とするファイザー製のみ。英アストラゼネカ・オックスフォード大学と米モデルナの2社が厚労省に製造販売を申請し、3月末までには承認される見通し。政府は3社と計1億3700万人分の供給で合意を取り付けているが、供給時期や接種時期などは決まっていない。

変異株、アレルギーを警戒

英国、南アフリカ、ブラジルで確認された「変異株」の国内感染が急増し、厚労省による3月10日午後6時現在、22道府県で計272人(空港検疫での感染者74人除く)の感染が確認され、警戒を強めている。

また厚労省によると、ワクチン接種によって強いアレルギー症状が出る「アナフィラキシー」の事例25人が報告された。いずれも症状は軽いものの、欧米と比べ発生率が高く、厚労省は専門機関に調査を依頼した。

接種の優先順位

政府が決定したワクチン接種の優先順位は①医療従事者(約370万人) ②高齢者(約3600万人) ③基礎疾患のある人(約820万人) ④高齢者施設や居宅介護従事者など(約220万人) ⑤の入所者との同時接種も可。

③基礎疾患のある人は、呼吸器や心臓、肝臓の慢性疾患、糖尿病、免疫機能低下、睡眠時無呼吸症候群など13疾患で入院または通院中の人が肥満(BMI30以上)も対象となる。

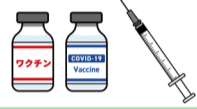
④高齢施設従事者は原則職を問わない。当初、対象外とした居宅系サービス従事者から異論や抗議が続出したため対象に加えた。

ワクチン接種を受けるには、住民登録している自治体が発行する「クーポン券」を持参して会場に向く。特養などの入所者や、やむを得ない事情がある場合、事前に届け出れば、現在の住所地(入所先)などで接種が受けられる。

(注) ワクチンに関する問い合わせは厚労省コールセンター0120(761)770(9:21時、土日・祝日も実施)へ。接種に関する問い合わせは最寄りの市町村窓口へ。

介護施設でクラスター多発

厚労省が2月17日に公表したクラスター発生件数(2月15日時点)は5104件。うち高齢者福祉施設は1017件(全体の19.9%)で最も多かった。政府は介護施設の全職員を対象に抗体検査を3月末までに実施するよう自治体に要請した。



【連載】令和3年度改定を読む(最終回)

3年後の介護報酬改定に向けて

○押さえておきたい3視点

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告で3年後の次期改定までに特に検討を進めるべきと考えられる事項が今後の課題として示されており、この中からユニット型施設経営者の視点から押さえておきたい「ケアの質の維持又は向上の検証」「介護の経営の大規模化の検討」「ローカルルールの実態把握」の3点を取り上げる。

どうなるユニットケアの検証

今回の改定はとにかく非常に多くの今後の課題を残している。過去の例を拾ってみると、平成27改定時が5件、同30改定時が18件、今回は39件もある。つまり大胆に改定したという見方も出来るが、見直しの余地があるということでもある。

今回、事前の検証なしにユニット定員を拡大したが、懸念からか、ケアの質や職員の負担等を今後定期的に把握し検証するという。しかし、現状ユニット定員10人超の施設は10人基準施行前に造られた施設であり、新規整備を待つとすれば、いつのことになるのか。本当に定期的に把握する体制が整備されるのか懸念が残る。

ケアの質に関しては、他にもある。LIFEの推進とテクノロジーの活用の中で質の評価の在り方や変化がなかったかなどの検証が行われることになっていくが、ユニットケアに言及がなく、ユニットケアを前提とした検証が行われるのか、疑問が生じる。

ユニットケアの良さはご家族との交流のしやすさにも現れる。入居者の居室はプライバシーが保護され、時には部屋で泊まる家族もいる。コロナ禍では居室でのオンライン面会でお墓参りに行く様子を伝えたこともある。これもケアの質ではないかと思うが、評価にどう反映させるのか。動向を注視したい。

大規模化 検討の余地

「介護の経営の大規模化の検討」は介護人材確保の視点で語られているが、介護事業経営主体としての社会福祉法人と営利法人のイコールフットイングを目指す視点からも検討の余地がある。都市部と過疎部では経営環境も異なり、人口構造が大きく変動する地域では将来の経営に不安を感じる事業者もあると思われる。

社会福祉法人の吸収や合併の進め方は議論されているものの根本的には持ち分の無い法人の合併であり、営利法人のようにビジネスライクで合併が行えないことが進まない原因である。ここを大胆に踏み出せば状況は一変するのでは。もちろん現行の社会福祉法人制度が持つ公益性が重要であることは言うまでもない。

公募の実態を明らかに

「ローカルルールの実態把握」は進めてもらいたい。介護報酬は一律基準であるにもかかわらず事業を実施する際の基準が自治体によって異なっている。指定基準で許された範囲での差異はやむを得ないとしても、公募条件で指定基準以上の要件を課す場合がある。これは事業者側に負担を強いことになるが、公募条件とされれば、事業者は少し無理をしても応募する。この実態を明らかにしてもらいたい。

推進協はどうするか。ユニットケアの質の維持、先を見通した経営戦略構築支援について対応を強化したい。ユニットケアの質をどう評価していけばよいのか。地域ごとに異なる経営環境はまさに個別対応が必要。まずは会員の皆様とコミュニケーションを図り、多くのご意見を伺い、質の評価の軸を定めていきたい。推進協は4月からタウンミーティングを開始する。(事務局長 懸上 忠寿)



【連載】木村よしおの「ちよつと一言」

これから日本に必要なこと
コロナウイルスに罹ったらどうしよう、ワクチンの副反応や安全性は大丈夫なのか。今、私たちは毎日が何か霧の中に居るような状態に置かれているのではないだろうか。

ところが、この危機に乗じて巨額の利益を上げている一部のテクノロジ企業経営者などの超富裕層があり、不安にあえぐ大衆層との間で計り知れない所得格差が生じています。また中間所得層の貧困化がクローズアップされるなど社会問題にもなっています。

○勤労者を軽視する風潮
格差問題が深刻化しています。GAF Aのような巨大産業(グローバル)やアップルなど4社合わせた株価値総額は日本のGDPを上回っている。が現れ、世界中の情報やデータを集積して国家をも凌ぐ巨大な影響力を持つようになりました。

第21回 介護保険委員長のよもやま話

昨今の分科会審議について

○介護報酬制度の改正は3年に1度行われ、厚生労働大臣の諮問機関である社会保障審議会介護給付費分科会が審議しています。昨今の審議経過をみますと、科学的介護の実践に向けてビッグデータとPDCAサイクルの活用がトレンドになっています。人口動態(少子高齢化と人口減少が加速)から制度の持続可能性を高めて介護保険制度を新たな時代に則したものにできるように舵を切っています。

○：ユニットケアが創設されて以来、今日までに築いてきた「十人十色の暮らし」の保障が地域包括ケアシステムの重要な要素になっていきます。厚労省が推し進めているビッグデータ活用とその評価軸が地域包括ケアシステムと合致することは、私たち介護サービス提供者や利用者・家族にとって、ものすごく重要なこと

私たちはスマホ1つで生きていくことも可能になりましたが、私たちの生活や生存のために地道に働いている勤労者を軽視するような風潮をまん延させてはいけません。

○優しく希望のある社会を
国家は貧困層の福祉施策とともに中間所得層にもっと配慮すべきで、ごく少数の富裕層を作り出し、格差を拡大させることがあってはなりません。企業については雇用を拡大して貧困層を何人減らしたのか、中間層が安定させたのかによって(企業)価値や優劣を判断すべきです。

ある意味、私たちは分岐点に立っています。人間を隔離し、孤立化させるテクノロジに未来を委ねてしまふのか、一人ひとりの尊厳を大事にするのか。コロナ禍後の世界を懸命に働き、地道に生活している国民が諸々の不安から解放され、安心して暮らせる「優しく希望のある社会」にしていかねければなりません。

とです。はたしてトレンドになっているビッグデータやPDCAサイクルの活用は地域包括ケアシステムと合致しているのでしょうか。

○：人々の幸せと直結できるのは、やはり人であり、データではありません。介護保険部会や介護給付費分科会には、診療報酬の改定を議論している審議会のようにはなつてほしくないと心から願っています。「生活動作改善と生理的欲求を満たすだけが介護保険制度創設の理念ではない」と考えている人が少なくありません。

ビッグデータ活用において、ユニットケアのプロセスが評価軸になれば、結果として暮らしを支援するという大義を失いかねないと危惧しています。



藤村 二郎
介護保険委員長

大阪府

社会福祉法人 優心会



特別養護老人ホーム

こうのとりの

～ 理想の実現に向けて ～



(左) 施設外観 (右) 施設のアイドル犬・優ちゃん

【施設の紹介】

2013年、「こうのとりの」は、大阪市の24行政区の中で人口が最も多い平野区に開設した。アクセスは大阪メトロ谷町線「長原駅」から徒歩6分、周囲には小中学校や病院、高齢者施設などが建ち並ぶ。

【地域と共に楽しむ】

法人理念は「あふれる笑顔」。イベントも「全員が楽しむ」をスローガンに参加者が笑顔になれる企画を心がけている。

○ハロウィンパーティー

施設で開催するハロウィンパーティーを「カラフルコロウィンパーティー」と名付けている。※「コロウィン」は「こうのとりの」と「ハロウィン」の造語。



中央の石油王が垣谷理事長

当日は入居者、垣谷隆太理事長、職員、業者などが個性たっぷりカラフルに仮装する。

○ラッキーボードフェス



「施設の敷地を地域の交流の場として活用したい」と企画したラッキーボードフェスティバル。19年5月、「食」をテーマに1回目を開催し、約340名が参加。コロナで延期していた2回目を

開催に向けて企画中だ。

【こだわりの本格志向】

石焼き芋は落ち葉拾いから始めるといった具合に行事などは本格志向にこだわっている。

○風情あふれる花見を



窓越しに桜を楽しむ

春は2階の共有スペースから桜が楽しめる。番傘などで風情あふれる花見を演出している。

○さばいた魚で握り寿司



魚の解体ショー

寿司の日は地域の鮮魚店の協力で魚を仕入れ、解体ショーを実演、その後、目の前でさばいた魚を職員が握っている。

○昔取った杵柄で



慣れた手つきで畝作り

敷地内の農園で、キュウリや大根など野菜を栽培している。畑づくりの知識がない職員を横目に農作業に長年携わってきた入居者が慣れた手つきで畝作りをしてくれる。

○駐輪場にぶどう畑

ぶどう狩りは地面が土で傾斜もあるので車椅子



ぶどうを手記念撮影

だと難しい。せめて雰囲気は味わってほしいと、近隣のスーパーや職員の実家から、ぶどうや葉、葛を入手、駐輪場にぶどう畑を再現した。

【職員の夢が叶う職場】

就活で訪れた学生のほぼ100%が同法人への入職を決める。職員みんなでつくりあげる働きやすい職場、職員の夢や、やりたいことが叶えられる環境が、決め手となっている。

【北野智保施設長から】



理想を実現するうえで、「できない、無理」と言ってしまう、ゼロのまま進まない。「どうすれば実現できるか」を共に考え、第一歩を踏み出せるようにする。

また、「否定されない環境」や「自発的な意識の構築」を図り、入居者様や職員、こうのとりに関わる全ての方が「笑顔であふれる」ようにしたい。年2回、全職員と面談し、想いを共有。やりがいをもって働ける方法を一緒に考えています。

【取材後記】訪れた就活生の入職率が100%と聞いて、思わず納得でした。(事務局・山崎)

〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺三丁目2番3号 TEL:06-6700-8000 FAX:06-6700-8400 URL: http://yuushinkai.or.jp/

【特養】定員100人(10ユニット)・【ショート】定員10人(1ユニット)

兵庫県

社会福祉法人 豊中福祉会



総合ケアサービス施設

ローズガーデン甲子園

～ 家族のような絆と安らげる住まいを提供 ～

【施設の紹介】



施設外観

2016年、「ローズガーデン甲子園」(西宮市)は甲子園球場からほど近い閑静な住宅街に開設した。阪神電鉄本線「鳴尾駅」から徒歩15分の距離にある。

【コロナに負けるな!】

例年の大規模行事はコロナで中止。ご家族や地域の方を招くことはできないが、ユニットやフロア単位で行事を開催し、暮らしに変化を感じてもらっている。スタッフは「コロナだからできない」ではなく「コロナでも工夫して楽しめること」を探して取り組んでいる。

○毎年恒例 流しそめん

感染対策をしっかりと行っただうえで実施。外で食べるそうめんは一段と美味しく、箸が進む。



夏の風物詩「流しそめん」

○ユニット毎に「秋華祭」

ユニット毎にお祭りを開催。フランクフルトに焼きそば、たこ焼きなどの屋台が並ぶ中、一番人気は「わたがし」だ。



わたがしを作る辻村施設長(中央)

○フロアごとに「運動会」

日にちを変えてフロアごとに運動会を開催。入居者もスタッフも、みんな「エエ顔」になって、玉入れ、輪投げボーリング、逆さにした傘に玉を投げ入れるグラグラ傘ゲームなどの競技にご満悦。



グラグラ傘ゲーム

○温泉テイクアウト

昨年5月、「ホテル若水」(宝塚市)の企画「温泉テイクアウト」をスタッフが発見!宝塚温泉の湯を20ℓ無償提供してもらえる。※現在は終了しています。ホテルに連絡したら「介護施設で使うなら」と100ℓの湯を提供してもらった。おかげで入居者に足湯を楽しんでもらうことができた。

○アロマハンドケア

午後のティータイム時

に実施している。アロマの良い香りと心地よいハンドマッサージ。うたた寝したくなるようなリラクスタイムだ。

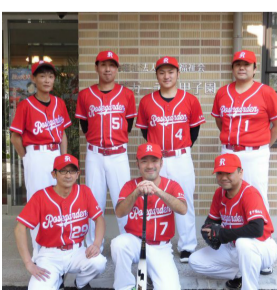
○ベビーローズ甲子園



ユニフォーム姿で記念撮影

17年6月、施設内に企業主導型保育園「ほいくRoomベビーローズ甲子園」(定員12名、うち従業員6名)を開設した。

○ローズガーデン野球部



3年半前、野球部を発足。部員は甲子園経験者から野球経験ゼロまで、年齢も20代から50代まで幅広く、バラエティ豊かな顔ぶれだ。

【辻村広志施設長から】



法人理念「家族のような絆を目指して」を具現化できるよう、スタッフとともに日々工夫をしながら、取り組んでいます。【取材後記】コロナでも楽しめることを常に探すスタッフの様子が印象的でした。(事務局・山崎)

〒663-8179 兵庫県西宮市甲子園九番町10-5 TEL:0798-81-5037 FAX:0798-81-5031 URL: http://toyonaka-fukushikai.com

【特養】定員80人(全室個室8ユニット)

介護ニュース・ダイジェスト

2月1日～2月28日

介護に関する政府機関や団体の動向を掲載しています。詳細は厚生労働省HPなどをご覧ください。推進協ウェブサイトにWeekly参照。赤字は重要ニュース。

■クラスター多発と警告

(2月1日) 厚労省の助言機関「アドバイザーボード」によると、全国のクラスター発生は4536件(1月25日時点)。福祉施設1129件のうち高齢者福祉施設833件。「高齢者施設で発生が増えている」と警告。

■改正特措法など成立

(2月3日) 時短拒否など過料
新型コロナウイルス対策の特別措置法、感染症法、検疫法の3改正案が成立した。2月13日施行。【特別措置法】時短・休業命令に違反は30万円以下の過料▽「まん延防止等重点措置」期間中は20万円以下の過料【感染症法】入院措置の拒否や入院先からの逃亡は50万円以下の過料。▽正当な理由のない調査拒否は30万円以下の過料など▽正当理由ない入院拒否は医療機関名を公表。

■ほぼ半数が「10%以上減」

(2月4日) 全介護の緊急調査
全国介護事業者連盟の新型コロナウイルス緊急調査によると、売上が前年度月比で「10%以上減少」と答えた事業所が46.7%を占めた。優先的な検査や経費補助などを要望する。

■推進協勉強会スタート

(2月5日) 260人参加
推進協は厚労省の斎藤良太高齢者支援課長を講師とするオンライン勉強会を開き、約260人が参加した。斎藤課長は21年度介護報酬改定の概要や個室ユニット型定員の緩和、新型コロナウイルス感染対応などについて講演した。【推進協ニュース】2月号掲載。

■アストラゼネカ申請

(2月5日) コロナワクチン2例目
英アストラゼネカは厚労省に新型コロナウイルスワクチンの製造販売承認を申請し

た。国内では米ファイザーに次いで2例目。承認は3月下旬以降になる見通し。

■後期医療「2割負担」導入

(2月5日) 医療改革法案を閣議決定
政府は年収200万円以上(単身世帯)の後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる医療制度改革関連法案を閣議決定し、国会に提出した。成立すれば、来年10月から再来年3月末までの間に導入。

■役員報酬への充当は不可

(2月9日) 社福連携法人の貸付
社会福祉連携推進法人の運営の在り方等に関する検討会は、貸付金の使途を「社会福祉事業の継続に最低限必要な使途かつ返済が見込まれるもの」とし、役員報酬に充てることは認めないことを了承。

■非正規が41%占める

(2月12日) 19年就業形態調査
「就業形態の多様化に関する総合実態調査」(昨年10月時点)によると、非正規労働者は労働者全体の41.3%を占め、14年調査より1.3ポイント増えた。

■介護施設全職員を検査

(2月12日) クラスター対策
政府の新型コロナウイルス対策本部は緊急事態宣言の対象外37道県に対してクラスター防止のため介護施設全職員の検査を3月末までに実施するよう要請することを決めた。

■500単位を特例加算

(2月15日) コロナ退院者受入れ
厚労省は特養などの介護施設が新型コロナウイルス感染症の治療を終えて退院する高齢者を受け入れた場合、特例として4月から「退所前連携加算」500単位/日(30日限度)を基本報酬に加算することを決めた。当該施設からの入院は対象外。

■ワクチン接種始まる

(2月17日) 先行の医療従事者
新型コロナウイルスワクチンの先行接種が始まった。コロナ治療にあたる全国約100医療機関の約4万人(推

定)が対象。

■厚労省がコールセンター

(2月17日) ワクチン接種照会
厚労省は「新型コロナウイルスコールセンター」0120(761)770(9～21時、土日・祝日も対応)を開設した。

■看護師の日雇い派遣OK

(2月20日) 介護施設など
政府は介護施設や福祉施設などでの看護師の日雇い派遣を認めることにした。看護師不足対策。政令を改正する。

■死者数11年ぶり減少

(2月22日) コロナ対策が影響
「令和2年人口動態統計(速報)」によると、死者数は138万4544人で前年度より9373人減少。死者数が減少に転じるのは11年ぶり。新型コロナウイルス対策で肺炎などによる死亡が減ったため。

■高齢者接種4月12日開始

(2月24日) 26日週から全国配送
河野太郎新型コロナウイルスワクチン担当相は高齢者へのワクチン接種について「4月12日から限定的に実施し、26日の週から全自治体に行き渡る量を配送したい」と述べた。

■社福理事長ら8人逮捕

(2月25日) 社福贈収賄罪を初適用
山梨県警と大阪府警は社会福祉法人「大寿会(甲府市)理事長の高橋克己容疑者ら3人を社会福祉法違反(贈賄)容疑で、評議員5人を同(収賄)容疑で逮捕した。社福法改正で規定された贈収賄罪が適用されるのは初めて。

■LIFE情報メニュー案

(2月25日) ADLや口腔・栄養など
厚労省は新設される「科学的介護推進体制加算」のLIFEへの情報提供メニュー案を公表した。利用者の身体状況や既往症、ADL、口腔・栄養、認知症など。提供期日はサービス月の翌月10日まで。

■6府県の宣言を解除

(2月26日) 首都圏は見送り
政府は新型コロナウイルスに関する「緊急事態宣言」(3月7日まで)について愛知、岐阜、大阪、京都、兵庫、福岡を28日に前倒して解除することを決めた。東京、千葉、埼玉、神奈川は見送った。

スバリ回答!
人事・労務のお悩み
突然、労基署の監督官が来た!

【今月の相談内容】

突然、労働基準監督署(以下、「労基署」)の労働基準監督官が訪ねてきて調査が行われ、対応に苦慮しました。労働基準監督官は、事前の連絡なく、訪問してくるものなのでしょうか? どのような点を調査されるのでしょうか?

【回答】

○調査には2つのパターン
労基署の調査は、労働基準法や最低賃金法、労働安全衛生法等の労働基準関係法令の遵守状況を確認することが目的であり、労働基準監督官が事業場を訪問するパターン(臨検監督)と事業主が労基署に向くパターンとがあります。
その内容としては、対象となる事業主を無作為に抽出し、その年度の重点課題を対象とする定期監督と、労働者やその家族等から法令違反等の申告を受けて行われる申告監督とがあります。

○定期監督での必要資料

定期監督で一般的に必要とされる資料は次のようなものになります▽労働者名簿▽就業規則▽出勤簿▽タイムカード▽時間外・休日労働の記録▽賃金台帳▽時間外・休日労働に関する協定届(36協定届)▽年次有給休暇管理簿▽定期健康診断結果個人票▽衛生管理者の選任などの状況がわかる資料(事業場の労働者数が50人以上の場合)
○問題は早めに改善を
法人は、業務を運営する上で労働基準関係法令を遵守することが求められています。そのため労務管理上の問題点がないか定期的に確認し、問題があるときには早めに改善しておく必要があります。



推進協監事
特定社会保険労務士
栗田淳二

推進協オンラインセミナー ZoomでLIVE研修 お申込みはweb(suishinkyo.net)で

推進協

検索

月例研究会 ※会員、自治体は無料、非会員は有料

開催月	日程	テーマ・講師
3月	3/25(木) 14:00~16:00	認知症施策の最新動向 講師:厚労省担当官
4月	4/12(月) 16:30~18:30	自立支援・重度化防止の推進とLIFEの導入について 講師:厚労省担当官

ユニットケアワンポイントセミナー

受講料:無料 時間:15:00~15:45(45分)

回	日程	テーマ
9	3/23(火)	ユニットリーダーのつづやきが現場を変える
10	3/30(火)	コロナ禍での地域との関わりの変容について
11	4/6(火)	願いごとかなえ
12	4/13(火)	ユニットリーダーとしての心がまえ
13	4/20(火)	入居者をもっと知るために

ユニットケアワンポイントセミナー

現場職員向け 参加費無料

推進協は1月から介護現場の職員を対象とした「ユニットケアワンポイントセミナー」を始めた。

会員、非会員ともに参加費は無料で、参加しやすい時間帯(15時~15時45分)に開催している。テーマは現場での取り組み事例など日常業務に関するものになっている。また、他の施設の職員と悩みを話し合ったり、ヒントを得たりできるようにグループワークも実施している。

これまでに8回開催。北海道から沖縄まで各地の介護施設から、毎回約100名の職員が参加している。

今後月に3~4回、開催する。

【第1~8回セミナーのテーマ】

▽第1回「ユニットケアの3要素って何?」▽第2回「居室の設置を考える。ヒント」▽第3回「肝はユニット会議にあり!!」▽第4回「栄養士が応援します!!個別ケアと栄養マネジメント」▽第5回「私の視点(日勤と夜勤)」▽第6回「大した工夫」▽第7回「看取り介護の実践」▽その方の人生を生ききる支援について」▽第8回「ユニット費って? どう使う!!」

入会施設のご紹介

◆美郷苑(特養)

支部名 兵庫支部
法人名 (福)ひめじ福寿会
法人代表者 理事長 北川博康
施設代表者 施設長 北川和樹
住所 姫路市四郷町坂元44番地1
電話 079(262)6671

【会員施設数】 378施設

(令和3年3月1日現在)

【事務局から】

「特養、コロナ禍ドキュメント」研修を終えて難局を乗り切る要は「チームワーク」。職員、家族、地域、行政との連携が日頃からいかにできているか、コロナに試されているように感じました。

施設紹介しませんか 推進協ニュース3面の施設紹介に協力いただける施設を募集しています。掲載希望の施設は事務局(045-921-0462)までご連絡ください。(山)